

## 令和5年度 第5回学校運営協議会

令和6年2月8日（木）10:00 会議室

### 開会

- 1 会長あいさつ
- 2 校長あいさつ
- 3 議長の選出
- 4 前回会議録確認【尾白】
  
- 5 授業参観（10:15～10:45）【芹澤】
  
- 6 熟議（10:45～11:45）
  - (1) 来年度の学校経営方針【校長】
  - (2) 学校運営協議会自己評価【芹澤】
  
- 7 報告
  - ・夢育やらまいか事業（CS加算分）の使用について【芹澤】
  
- 8 連絡事項
  - ・卒業証書授与式の出欠席について
  - ・入学式の出欠席について
  - ・来年度からの運営協議会委員について

### 閉会

#### ※次回予告

第1回 学校運営協議会 4月19日（金）9:00～11:00

令和5年度 第4回学校運営協議会 会議録(要点記録)

- 1 開催日時 令和5年12月18日(月) 10時00分から11時40分まで
- 2 開催場所 大平台小学校 会議室
- 3 出席委員 井嶋 吉廣、齊藤 良夫、内藤 明子、野末 妙子  
島田 賢司、大和 佐知子、山田 高博、幅 あけみ、田中 基生
- 4 欠席委員 今井 孝
- 5 オブザーバー 徳増 宏之(入野協働センター館長)
- 6 学校支援コーディネーター 荻 哲也
- 7 学 校 戸嶋 秀樹(校長)、芹澤 俊一(教頭)  
竹内 由里子(教務主任)、尾白 栄子(CS ディレクター)
- 8 教育委員会 牧野 知子(教育総務課)
- 9 傍聴人 なし
- 10 会議録作成者 CS ディレクター 尾白 栄子
- 11 議長の選出  
山田委員より田中委員を推挙する旨の発言があり、全員意義なくこれを承認した。
- 12 協議事項  
(1)学校経営方針具現のための手立てについて
- 13 会議記録  
「学校に関するアンケート」結果報告・評価分析・改善報告について、竹内教務主任より説明があった。  
学校関係者評価について、芹澤教頭より、説明があった。  
委員からは、以下の発言があった。  
○成果
  - ・ 児童の成長を感じた。アンケートからもいい結果が出ている。「かかわろう」「やってみよう」からあと3ヶ月の間に「見つめよう」と「つなげよう」もより実践していけるよう、先生方にごがんばってほしい。(内藤委員)
  - ・ 成果として子供たちと関わる冬フェスが行われた。大平台小の子供たちが手伝いをしてくれたり、言うことを聞いてくれたり、素直さをとても感じた。大人も中学生もポジティブで協力的で大平台の地域の良さを感じた。(山田委員)
  - ・ 児童がかかわろう、かかわっているという思いがある。伸びるところを伸ばし、自信につながるよう働きかけをしてほしい。(大和委員)

### ○課題

- ・ 「つなげよう」は、保護者と子供の感覚の違いがある。大きなめあてでは判断しにくいですが、子供たちがみんなのためになることができている、自己肯定感が高い。受け取る側と指導側とで違いが出るのは、よくないと思う。 (山田委員)
- ・ 課題としては、積極性について思うことがあり、言われたことはできるが、言われたいことはしないという子供が多い。細かいことには、子供に手を出しすぎないよう、極力見守ることも大切に思う。親という字は、立木の陰で見守ると書く。子供たちの意思にまかせるような方向性を持っていきたい。 (田中委員)
- ・ 授業の様子を見て、子供たちは落ち着いていると感じた。親ができすぎて何でもやってしまい、子供の自主性がないと感じることもある。子供たちだけでやることをやらせたいと思う。 (荻学校支援コーディネーター)
- ・ 今の子供たちは忙しすぎて、結果的に自主性を持たなくなってしまう。いじめやけんかだけでなく、子供のことに何でも親が口を出している。子供だけでできること、できないことを判断できる方向にもっていきたい。 (幅委員)
- ・ アンケートについて、生活面についてなのか、授業についてなのかという見方で回答の仕方が変わると思う。アンケートの取り方、方法について考えてもよいのではと感じる。 (内藤委員)
- ・ 少数の意見も拾いたい。教育現場では問題を大きくしないために早めに手を打つことが多いように感じるので、子供同士で解決するチャンスをなくしていることもあるように思う。親と子供、先生との関わりが大切に感じる。 (田中委員)
- ・ 大人になってからの対人関係を学ぶのが学校という場でもある。子供に任せる環境をあえて学校で作ることも大事だと思った。 (戸嶋校長)
- ・ 今の時代は、少子化に一人っ子が増えている。子供同士で気付きがあり、結論が出せるようになれば、より意欲的になれると感じる。 (島田委員)
- ・ 教室で心無いことを言われたことを個別に指導するのではなく、先生が教室の生徒みんなに言葉がけしてくれて、気付きが持てるように投げかけてくれた。自分たちで考えるように言葉をかけてほしい。 (山田委員)

### ○いじめについて

- ・ 月に一回いじめについて会議をしている。子供に任せることや全体に投げかけることでいじめの防止につなげていきたい。 (戸嶋校長)
- ・ 小さいころから親が介入しすぎている。子供同士で解決することも大切に思う。 (斉藤委員)
- ・ いじめは見つけにくく、チェンブロックのように全員が敵のように思ってしまうのではないかと。一人では解決できないことは、相談できる人がいることやいろいろな人と関わることで知恵がつくと思う。話しやすい環境があるといいと思う。 (山田委員)
- ・ 学校に意見箱があってもいいのでは。親に相談できない子供もいる。 (田中委員)

○連絡事項

(1)屋上庭園について

5年生の委員会に高校生も参加して活動をした。ベースはできたので、今後は地域の方々の関わりをもつ機会を増やして、活動していきたい。チューリップの栽培や佐鳴湖の環境への取り組みなど、楽しく学びがついてくるコミュニティとなれるようにしたい。(荻学校支援コーディネーター)

(2)学習ボランティアについて

冬休み 12/25 に9時から学習ボランティアを予定している。4名のボランティアさんが参加する。  
今後もボランティアを募りたい。(大和委員)

(3)次回実施、自己評価について

- ・ 家庭訪問、参観会、集団登校について、次年度以降検討している。(芹澤教頭)
- ・ 集団登校、懇談会、学習発表会について、次年度以降検討している。(戸嶋校長)

(4)次回議長の選出

次回の議長は、内藤委員が選出された。

次回会議予定

第5回 2月8日(木)10時00分から12時00分 大平台小会議室

# 授業者一覧

2月8日(木) 3校時 B週

No	学級	氏名	場所	教科	単元名	付けたい4つの力			
						かかわろう	やってみよう	みつめよう	つなげよう
1	2-1	稲垣和歌子	教室	算数	1000より大きい数		○		
2	2-2	竹村佳代子	教室	図工	はさみあーと		○		
3	ひまわり1組	大石 洋子	教室	国語	なかまのことば			○	
4	ひまわり2組	加茂 琢也	教室	算数	三角形		○		
5	1-1	田中 三大	教室	国語	これはなんでしょう	○			
6	1-2	渡邊三千代	運動場	体育	なわとび		○		
7	1-3	遠藤 芳枝	教室	国語	どうぶつの赤ちゃん			○	
8	3-3	村上 陽子	教室	図工	いろいろうつして	○			
9	3-2	笠原 佑花	教室	算数	2けたの数のかけ算		○		
10	3-1	勝本 尚宏	教室	総合	グーグルスライドを使おう		○		
11	わかば	新村 朋子	教室	3年算数	2けたの数のかけ算		○		
12	4-3	宮崎 幸子	教室	算数	立体	○			
13	4-2	富永 百加	教室	図工	元気のお守り		○		
14	4-1	江馬 享佑	体育館	体育	表現	○			
15	6-1	(山崎和行)	教室	書写	卒業に向けて一言		○		
16	6-2	山本清楓	教室	社会	新しい日本、平和な日本			○	
17	6-3	(徳田真里)	家庭科室	家庭科	感謝の気持ちをあらわそう	○			
18	5-1	田中かおり	教室	総合	佐鳴湖の環境を未来につなごう			○	
19	5-2	太田 将仁	教室	総合	佐鳴湖の環境を未来につなごう			○	
20	5-3	松野 将拓	教室	総合	佐鳴湖の環境を未来につなごう			○	

※ ( ) は教科担当の教員

## 令和6年度 大平台小学校 学校経営方針

### 【学校教育目標】

### 未来を切り拓く わかばの子

#### 【教育をめぐる現状】

超スマート社会（society5.0）の実現に向け、先端技術が高度化して社会の在り方そのものが劇的に変化し、予測が困難な時代となっている。昨年度、新型コロナウイルス感染症が5類移行となることで、アフターコロナの学校の在り方が問われており、依然、学校教育をめぐる状況は大きな変化のうねりの中にあると言える。このような中、国はすべての子供たちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの実現を図る「令和の日本型学校教育」を目指し、35人学級とGIGAスクール構想の具現を進めてきた。浜松市では、キャリア教育を核とした人づくり教育を一層推進し、これからの時代をたくましく生き抜いていくイノベーターの育成を目指している。

#### 【地域の実態】

大平台は、浜松市中心から西方6kmほど離れた三方原台地の南端、佐鳴湖西岸に位置し、古くから「大平」と呼ばれていた。佐鳴湖西岸の開発の折、西岸遺跡群（大平遺跡、明善遺跡など）が発見された。これら遺跡群は、縄文時代から弥生・古墳・奈良・平安・中世時代のもので、古墳時代には多くの集落が成立し中世以降には、畑作として利用されることが多かった。現在は、佐鳴湖西岸土地区画整理事業によって開発され、緑あふれる町並みとともに新興住宅地として発展途上にある。

本校は、平成17年4月に開校し19年が経過、本年度は20周年の節目の年となる。これまで、学校や地域の様々な行事に協働体制を基本として取り組んできたことにより、自治会、地域諸団体との協力、信頼関係が構築されてきた。新しく開発された地域であるので核家族の家庭が多いが、学校の教育活動には協力的であり、地域を学ぶ学習や行事を通して、地域の学校として根付きつつある。

#### 【児童の実態】

開校時の平成17年度は児童数537名、16学級であったが、その後児童数が加速的に増え、平成22年度には児童数823名、25学級となった。それ以降児童数は、少しずつ減少してきている。

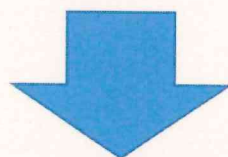
子供たちは、家庭環境や教育環境に恵まれ、明るく素直で活動的である。学力は比較的高く、ほとんどの子供は基本的な生活習慣が身に付いている。穏やかな性格で優しい子供が多く、任されたことは真面目に取り組み、自分の目標に向かっ

て努力することができる。その反面、自分で判断して行動することや自分で課題を見つけて粘り強く追究することを苦手とする子供が少なくない。体を動かすことや外遊びについては進んで行う子と避ける子の二極化が見られる。

発達に課題をもつ子供や集団に適応できない子供は年々増えている。外国につながる子供についても全体の7%ほど在籍していて、母語や日本語の獲得が不十分なため、サポーターによる学習支援や個別指導を行っているが、特に国語科や算数科の基礎学力の定着には課題がある。そのため、令和3年度より放課後ボランティアによる個別指導を行っている。

### 【目指す子供の姿】

教育をめぐる現状と地域や児童の実態を踏まえ、令和4年度より学校教育目標を「未来を切り拓く わかばの子」とした。社会の変化に主体的に向き合い、自らの可能性を発揮し、他者と協働しながら、自らの人生を切り拓き、未来の創り手となる子供の育成を目指している。



### キャリア教育の4つの能力 と合致させて

#### 【キャリア教育のキーワードと子供たちに付けたい力】

##### かかわろう

(人間関係・社会形成能力)

- よりよい人間関係を築く力  
手の思いや立場を尊重して、話し合ったり活動したりする

##### やってみよう

(自己理解・自己管理能力)

- 目標に向け、調整・継続する力  
何事も前向きに挑戦し、困難があっても粘り強く努力する

##### 見つめよう

(課題対応能力)

- 情報をもとに課題を解決する力  
取り組みを振り返り、収集した情報を選択・判断して課題を解決する

##### つなげよう

(キャリアプランニング能力)

- 自分らしさを大切にし、伸びる力  
なりたい自分や学びのつながりを意識して、やるべきことに自ら取り組んでいく



## 【令和6年度 目指す学校の姿】

- 子供たちが、「よりよく」伸びようとしている
- 保護者・地域からの信頼と協力が得られている
- 教員がウェルビーイングな働き方をしている

### 【自分がよりよく伸びる】

- ・自分がすべきことに前向きに取り組み、着実にやる力を高めたい  
→身の回りのこと、授業や家庭学習、自分の役割など
- ・自分に必要なことを自分で決める力を高めたい  
→めあて、目標設定、励ましや価値付け（多目標は危険）など

### 【共によりよく伸びる】

- ・友達の気持ちを考えながら関わろうという気持ちを育てたい  
→心の日、道徳、特活、SST、人間関係プログラムなど  
→いじめの未然防止を重視（職員の「いじめ防止基本方針」内容理解）
- ・上級生、下級生を思いやる気持ちを育てたい  
→縦割り清掃、わかば遊び、異学年交流など

### 【学びでよりよく伸びる】

- ・「選ぶ」と「協働」による、学びの深まりを目指したい  
→市指定校研修（R4・5）を基盤とした校内研修
- ・自分の伸びを実感させ、自ら次の学びに向かう力を高めたい  
→まとめや振り返りの在り方、次単元への導入

### 【よりよく伸びる土台、あたたかい学級づくり】

- ・確実な子供理解と信頼関係づくり
- ・どの子も居場所があり、互いに認め合う雰囲気づくり



保護者・地域の信頼と協力を得る

### 【健康的で幸福感に満ち、心にゆとりのある職員集団】

- ・自分の人生を大切にする働き方ができている  
→今だけではなく、自分の将来を見つめる（健康、家族、職務）
- ・笑顔と明るい挨拶に溢れている（子供、保護者、来客、職員間）  
→笑顔と張りが与える安心感を信頼に
- ・気付きを伝え合い、学び続ける職員集団  
→よいことはよい、よくないことはよくない
- ・何事も「チーム大平台小」で対応 → どんなことも皆で共有し、相談する





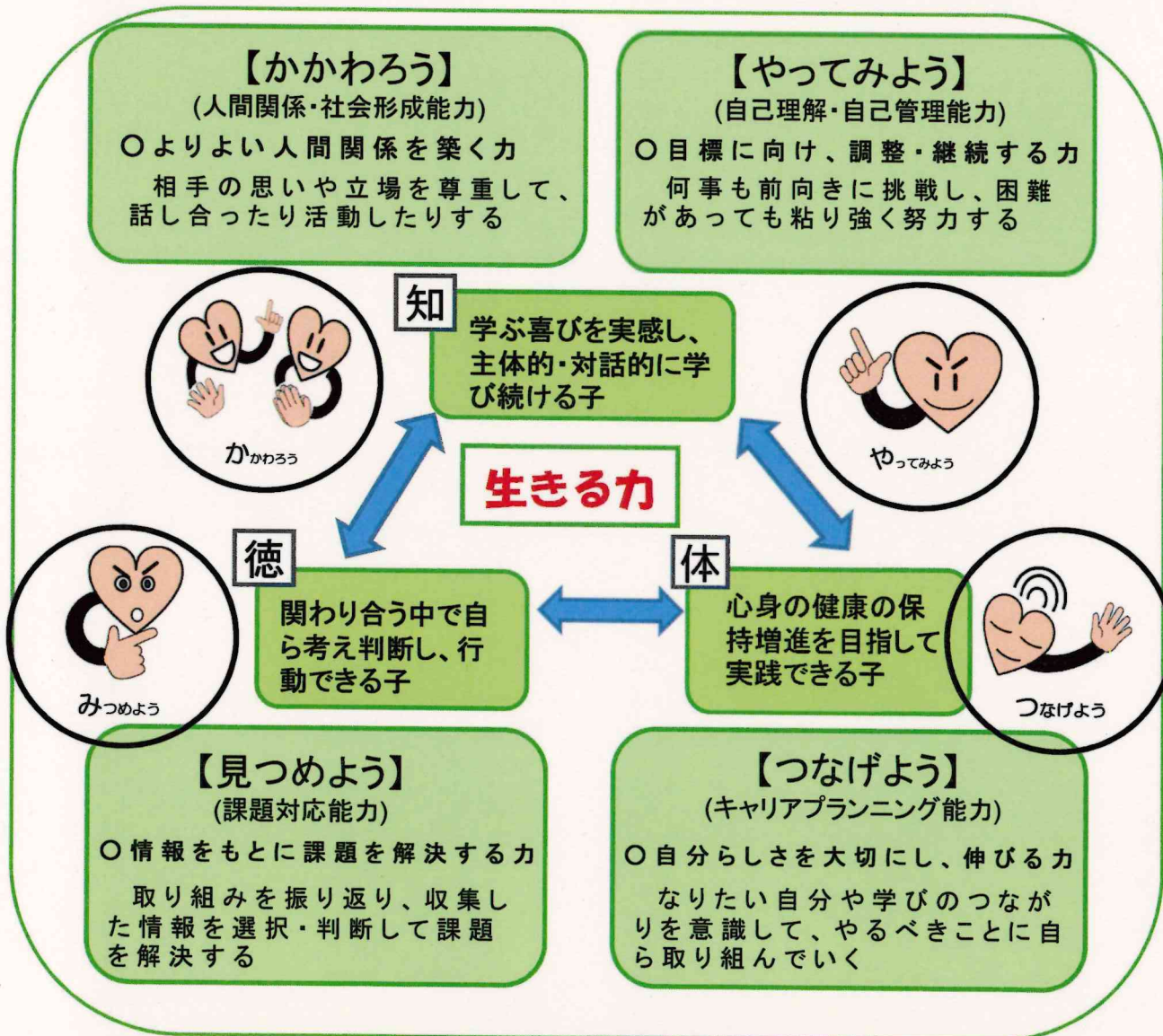
学校教育目標

# 未来を切り拓く わかばの子

【第3次浜松市教育総合計画】  
未来創造への人づくり  
市民協働による人づくり



【入野中学校区目指す子供の姿】  
夢に向かってたくましく生きる子供



互いを認め合う温かい学級 子供の心に寄り添う生徒指導

発達支援教育の理念

地域から信頼され、地域に根ざし、地域とともに歩む学校  
わかばの子 学校応援団 (CS学校運営協議会)



(様式1)

令和5年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(大平台小)学校運営協議会長

<本年度の目標>

- 放課後学習支援を充実させたい。屋上庭園も新たな目標をもって取り組みたい。タブレットを活用した授業の増加に伴い、サポートボランティアの導入や活用を進めていきたい。
- 学習支援ボランティアに、より多くの方が参加していただけるよう、協議会として尽力したい。また、幼稚園、小学校、中学校とつながりをもてるようにするための協議をしていきたい。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

<評価項目4> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

【 熟議チェックシート 】

委員長 ( )

できている もう少し

<p>評価項目 1</p>			<p>校長の説明を聞いて、分からない用語や疑問に感じたことを質問し、それに対して理解・納得できる回答が得られた。</p> <p>基本方針の承認にあたり、校長の説明を聞き置くだけでなく、よりよい学校運営のために建設的な意見を発言できた。</p> <p>学校教育目標や学校運営の基本方針についての内容を理解し、共有した。</p> <p>学校評価などの評価結果を生かした改善について確認した。</p> <p>学校運営について、率直に意見を述べることができた。</p>
<p>評価項目 2</p>			<p>学校の教育目標と学校支援活動とのつながりを意識して、協議会で協議を重ねた。</p> <p>熟議の結果、学校、家庭、地域がそれぞれ実行すべきこと、役割分担が明確になった。</p> <p>これまで行われてきた学校支援活動についても、教育目標とのつながりや学校、家庭、地域の役割分担を考え、見直すことができた。</p> <p>協議会で決定し、実施した学校支援活動について、振り返りや反省を行った。</p>

(様式2)

令和6年 2月 9日

浜松市教育委員会 教育総務課  
学校・地域連携担当課長

浜松市立大平台小学校  
夢をはぐくむ学校づくり推進協議会  
代表 今井 孝

### 夢育やらまいか事業（CS加算分）報告書

夢育やらまいか事業のCS加算分の用途等について、下記のとおり報告します。

#### 記

#### 1 学校運営協議会からの意見

別紙「夢育やらまいか事業に対する意見書」のとおり

#### 2 意見に基づき実施した活動等

No.	記号	事業内容	具体的活動内容
1	ク	栽培活動の充実	栽培委員会を中心に、屋上庭園の整備を行った。委員会活動の一環として、屋上庭園の整備、植物の世話をを行い、きれいな花を育て、共に喜ぶ活動は子供たちの大きな財産となった。 草刈り、土の耕し、根の除去、土壌の改良作業等を、学生ボランティアたちと一緒にを行った。また、全校児童がいつでも屋上庭園を利用できるようにした。
2	イ	その他学習の充実	学習ボランティアを募り、学習支援をお願いした。子供の傍らでその子のペースに合わせて支援したため定着が良くなってきた。子供たちも自信をもって取り組み、発表できるようになった。

#### 3 活動に要した経費

夢育やらまいか事業収支決算書のとおり

令和6年2月8日

学校運営協議会委員 様

浜松市立大平台小学校長 戸嶋 秀樹

第19回浜松市立大平台小学校卒業証書授与式の御案内

余寒の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃、本校の教育活動につきまして御理解と御支援を賜り心より感謝申し上げます。

さて、第19回卒業証書授与式を下記のとおり挙行いたします。御多用中とは存じますが、御臨席を賜り卒業生の前途を祝福していただきたく、御案内申し上げます。

記

- 1 日時 令和6年3月18日(月) 午前8時30分～午前10時45分
- 2 会場 浜松市立大平台小学校 体育館
- 3 日程 受付 8時40分までに「会議室」へお越しください。  
入場 8時45分  
開式 8時50分  
閉式 10時15分  
見送り 10時30分

4 その他

お手数ですが2月22日(木)までに出欠を電話又はFAXでお知らせくださいますようお願いいたします。

担当 教頭(芹澤)

TEL 482-1161

FAX 485-3511

切り取らずにこのまま送信願います

---

## 第19回卒業証書授与式の出欠席について

御芳名( )

( )出席 ( )欠席

2月22日(木)までにお知らせくださいますようお願いいたします。

令和6年2月8日

学校運営協議会委員 様

浜松市立大平台小学校長 戸嶋 秀樹

浜松市立大平台小学校入学式の御案内

日頃、本校の教育活動につきまして御理解と御支援を賜り心より感謝申し上げます。さて、入学式を下記の通り挙行いたします。御多用中とは存じますが御臨席賜りますようお願い申し上げます。

記

- 1 日時 令和6年4月5日（金） 午前9時00分～9時20分
- 2 会場 浜松市立大平台小学校 体育館
- 3 日程 受付 8時30分までに「会議室」へお越しください。  
入場 8時50分  
開式 9時00分  
閉式 9時20分

4 その他

お手数ですが、2月22日（木）までに出席を電話又はFAXでお知らせくださいますようお願いいたします。

担当 教頭（芹澤）
TEL 482-1161
FAX 485-3511

切り取らずにこのまま送信願います

## 入学式の出欠席

御芳名( )

( )出席 ( )欠席

2月22日（木）までにお知らせくださいますようお願いいたします。